

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
がん看護学特論Ⅱ	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	可・不可 「下記6, 7参照」
科目責任者	鳴井 ひろみ		
担当者	鳴井 ひろみ、本間 ともみ、山崎 智子 (非常勤)、高橋 利果 (非常勤)、増島 麻里子 (非常勤)、小野 晃子 (非常勤)、佐藤 裕美子 (非常勤)		
1. 科目のねらい・目標 <ねらい> がん患者の複雑な健康問題に対して包括的な支援を提供できるための援助方法を探究する。診断・治療の原理を基に、がんの予防、早期発見、病状説明、治療の選択、治療過程 (End of Life Care まで) に伴う患者・家族の反応に適切に対処できるための身体的管理・看護援助を学ぶ。 <目標> 1) 診断・治療過程における患者・家族の特徴を説明できる。 2) がんの予防からがん罹患後の経過 (診断期、治療期、再発・進行期、終末期) に応じた看護援助方法を探究できる。 3) がん患者・家族の援助に活用可能な資源を説明できる。 4) チーム医療における多職種との協働やケアのコーディネートの役割を説明できる。			
2. 授業計画・内容 <がんの予防、再発・転移の早期発見における看護援助> 1回 : がんの予防・早期発見における看護援助 (健康教育) (鳴井) 2回 : がん患者の再発・転移の早期発見における看護援助 (対処能力向上) (鳴井) <病状説明と治療の意思決定を支える看護援助> 3回 : 病状説明を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助 (鳴井) 4回 : 治療の選択・意思決定におけるがん患者・家族のアセスメントと看護援助 (鳴井) <がん治療期にある患者への看護援助> 5回 : 手術療法を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助 (本間) 6回 : 薬物療法を受けるがん患者・家族のアセスメントと看護援助 (鳴井) 7回 : 放射線療法を受ける患者・家族のアセスメントと看護援助 (佐藤・鳴井) 8回 : がんゲノム治療を受ける患者・家族のアセスメントと看護援助 (小野) <がん患者・家族のセルフケアを高める支援> 9回 : がん患者の長期的支援① 情報支援、コミュニケーションスキル、就労支援、アピアランスケア (鳴井) 10回 : がん患者の長期的支援② ピアサポート、サポートグループによる支援 (鳴井) <終末期にある患者・家族への看護援助> 11回 : 終末期にある患者への看護援助 (身体的苦痛と看護援助) (増島) 12回 : 終末期にある患者への看護援助 (心理的苦痛・社会的苦痛・スピリチュアルペインと看護援助) 13回 : 終末期にある患者の家族、遺族に対する看護 (山崎) (増島) <がん医療におけるチーム医療による支援> 14回 : がん医療におけるチーム医療とがん看護の専門性 (鳴井) 15回 : がん医療における地域との連携と社会資源の活用 (高橋)			
3. 教科書、参考書 <参考書> 一般社団法人日本がん看護学会教育・研究活動委員会コアカリキュラムワーキンググループ編：がん看護コアカリキュラム日本版、手術療法・薬物療法・放射線療法・緩和ケア、医学書院、2017年他、講義の中で適宜紹介する。			

4. 成績評価方法

授業への取り組み状況 40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容 60%で総合的に評価する。

5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースがん看護の学生は必修

6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。オンライン授業の場合はリモートでの同時双方向型授業を行う。

7. その他

- ・事前に提示する課題・資料を参考に自己学習して臨むこと。
- ・状況に応じてWebex meeting またはZoom を用いた遠隔講義を実施する。
- ・オンデマンドの実施不可